



Cisco ACI 長期および短期リリース

- [長期リリースについて \(1 ページ\)](#)
- [短期リリースについて \(1 ページ\)](#)
- [長期リリースのライフ サイクル \(2 ページ\)](#)

長期リリースについて

Cisco ACI長命リリースでは、ながら、品質や安定性を保証する頻繁なメンテナンス ドロップ (約 18 か月)、最大長期的な単位で所定のリリースを維持するのに役立ちますソフトウェア リリースです。Cisco では、時間の任意の時点の 2 つの長命リリースをサポート可能性がありま。ただし、アクティブなメンテナンスがプライマリは長命最新のリリースに置かれています。これらのリリースは、他のリリースよりも長い期間に維持されます。長命リリースは、頻繁にアップグレードされませんネットワークのまたは広く採用されている機能を展開するために推奨されます。

次回または前回の長期リリースへのすべての長期リリースサポートへのアップグレードまたはダウングレード確認済みのサポートについては、『[APIC アップグレード/ダウングレード サポート マトリクス](#)』を参照してください。



- (注) リリースブランチは、長期リリースとしてサポートされている場合もあれば、サポートされていない場合もあります。たとえば、2.x には 2.1、2.2、2.3 の 3 つのリリース ブランチが存在する可能性があります。しかし、2.x の 3 つのリリース ブランチのうち、1 つは長期リリース (2.2) としてサポートされている可能性があります、他の 2 つのリリース ブランチ (2.1 と 2.3) は長期リリースとしてサポートされていない可能性があります。

短期リリースについて

Cisco ACI 短期間リリースは、新機能の機能のために提供される安定した高品質のリリースです。これらのリリースでは、最初のリリース後 6 ヶ月間はメンテナンス サポートが限定され、

その後はアクティブなメンテナンスは行われません。また、これらのリリースには EOS アナウンスはありません。

すべての Cisco ACI リリースと同様に、以前の 2 つのリリースから短期間リリースへのアップグレードがサポートされている場合があります。確実なサポートに関しては、『[APIC アップグレード/ダウングレードサポートマトリックス](#)』を参照してください。

長期リリースのライフサイクル

- 長命のメジャーリリースのライフサイクルは、マイナーの最初のリリースの first customer shipment (FCS) から始まります。
- メジャーリリースはその後、メンテナンスリリース導入フェーズに入り、製品の不具合に対応するため、いくつかのリリースが提供されます。
- その後、メジャーリリースは成熟メンテナンスフェーズに移行します。このフェーズでは、顧客によって発見された重要度 1 および重要度 2 の欠陥に対してのみ、修復が行われます。内部で発見された不具合には個別に対処します。内部で発見された不具合で個別に対処します。
- すべての長期リリースは、次の長期リリースまたは前の長期リリースの最終メンテナンスバージョンへのアップグレード、またはダウングレードをサポートしています。

Cisco Nexus 9000 ACI モードスイッチと Application Policy Infrastructure Controller (APIC) を、新規に展開するお客様、またはすでに展開済みのお客様は、次の長期リリースから選択することをお勧めします。

Cisco APIC の長期リリース バージョン	長命の Cisco スイッチのリリース バージョン
5.2(x)	15.2(x)
4.2(x)	14.2(x)

特定の長期リリース バージョンに対応した最新のメンテナンス リリースとパッチにアップグレードすることをお勧めします。最新の Cisco Nexus 9000 ACI モードスイッチと Cisco APIC の展開は、該当する Cisco ソフトウェア ダウンロード ページからダウンロードできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。